

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	都市センター管理事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	都市政策課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	政策推進係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		21 市街地整備		1 鉄道駅周辺の都市機能を強化します				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	4	目	3	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	都市センター(市民課小牧駅出張所及び少年センター)の設備機器の維持管理・修繕等を行うことにより、施設を安全に利用できるようにする。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <p>都市センターの清掃、夜間警備及び防災機器等の点検業務等を委託し、設備の機能保全及び備品の購入等を行った。 清掃: 年末年始を除く毎日(開館日)実施 光熱水費、テレビ放送受信料等の維持管理経費の支払いを行った。 備品: 電話機の買い替え(主装置1台、電話機2台、留守番電話機2台、コードレス1台)</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 消耗品、光熱水費、使用料等(1,269千円) 管理委託料(1,669千円) 備品購入(378千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 消耗品、光熱水費、使用料等(1,592千円) 修繕料(356千円) 管理委託料(1,868千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,852	3,796	3,316	3,816	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	4,378	4,322	3,842	4,342	
対前年比		%		98.7	88.8	113.0		
財源	一般財源	千円	4,378	4,322	3,842	4,342		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	清掃日数	日	目標	360	359	359
実績				360	359	359	
	修繕件数	回	目標	—	—	—	—
			実績	3	2	0	
	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			年間事故発生件数	件	0	0	0
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	事故の発生もなく適正に維持管理ができた。				
		事業実施における課題	平成25年7月7日に愛知県から旧桃花台線インフラ撤去の方針が示されたことから、都市センター（市民課小牧駅出張所及び少年センター）の移転先について調整を図る必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	土日祝日においても住民票交付や市税の収納ができる都市センターの運営ができなくなり、市民サービスが低下する。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	引き続き施設の適正な維持管理を行うとともに、経年劣化により増加傾向にある施設修繕の効率的な施工に努める。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）				
	判定理由	施設を安全に利用できるようにするため、継続的に事業を実施する必要があるため。					
	27年度以降の改善案	旧桃花台線インフラ（小牧駅舎部）撤去時期等について愛知県と協議・調整を図るとともに、都市センター（市民課小牧駅出張所及び少年センター）の移転について関係課（市民課及び子ども政策課）と情報共有を行う。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 都市センターの廃止に向けて、市民課小牧駅出張所及び少年センターの対応について関係課（市民課及び子ども政策課）と必要な調整を行うこと。